

令和5年度 事業報告

1 概況

公益社団法人敦賀法人会は、“税のオピニオンリーダー”として 企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献するため、積極的に事業展開しました。

主たる活動については次の通りです。

- (1) 身近な税の広報誌『知らなくちゃ！税』を敦賀税務連絡協議会と共同発行し、敦賀税務署管内の敦賀市、美浜町、若狭町全戸に配布しました。
- (2) 税制改正に関する提言については、中小企業に相応しい税制の確立を目指し、税制委員会を中心に会員の意見を集約し、全法連を通じて関係諸機関に積極的な提言活動を行うとともに、地元国会議員ならびに地方自治体に対しても、提言活動を実施しました。
- (3) 青年部会会員・OBらが講師となり、敦賀税務署管内の小学6年生を対象に税金教室を開催しました。併せて、開催校にて税に関する小冊子を配布し、租税教育の推進に努めました。
- (4) 女性部会では税知識の普及をはかり、地域社会の健全な発展に資することを目的に小学5・6年生を対象に「税に関する絵はがきコンクール・表彰式・入賞作品展示会」と恒例の「ファミリーコンサート」を開催しました。
- (5) 広報委員会では、会報誌「ほうじんつるが」を年2回発行。税知識の向上をはじめ地元の行事や話題を取り入れ、地域密着型会報誌としての編集に努めました。ホームページでは、法人会事業、活動報告、福利厚生制度等の広報に努めました。
- (6) 税務・税制等研修活動として、北陸税理士会敦賀支部に講師を依頼し、年4回の税務税制研修会を開催致しました。また、役員対象に敦賀税務署長らが講師のTaxセミナーを年2回開催しました。
- (7) インボイス制度・電子帳簿保存法・マイナンバーカードの利活用の周知広報、e-Taxの普及及び添付書類を含めた電子化・キャッシュレス納付・期限内納付・電子納税証明書(PDF)・自主点検チェックシートの利用促進と普及拡大に努めました。
- (8) 経営者大型保障制度をはじめとする会員のための福利厚生制度では、厚生委員会・組織委員会が中心となり推進運動・会員増強に努めました。また、厚生事業の一環として、会員の健康管理を支援するため、人間ドックの会員料金割引制度と併せて、PET健診受診料の一部助成金制度を継続して実施しました。

2 組織関係

会員数	R5.4.1 現在		R6.3.31 現在	
	親会/正会員	907 社	親会/賛助会員	893 社
	親会/賛助会員	4 件	青年部会	4 件
	青年部会	26 名	女性部会	31 名
	女性部会	45 名		44 名

3 研修関係

(1) 研修会関係

◇役員 Tax セミナー

令和5年4月21日 ニューサンピア敦賀 33名

印紙税について

敦賀税務署 法人課税部門統括国税調査官 小野 修氏

◇第1回税務税制研修会

令和5年5月24日 ニューサンピア敦賀 31名

インボイス制度の実務対応について

北陸税理士会敦賀支部 税理士 岸本潤征氏

◇第13回定時総会 記念講演会

令和5年6月9日 ニューサンピア敦賀 100名

ピンチをチャンスに変える発想法

エッセイスト、タレント 小島慶子氏

◇第2回税務税制研修会

令和5年8月25日 ニューサンピア敦賀 51名

電子帳簿保存法の実務対応について

北陸税理士会敦賀支部 税理士 安久知宏氏

◇第3回税務税制研修会

令和5年10月18日 ニューサンピア敦賀 27名

令和6年からの相続税・贈与税の改正

北陸税理士会敦賀支部 税理士 田邊繁雄氏

◇税を考える週間 記念講演会

令和5年11月21日 ニューサンピア敦賀 45名

事業承継で事業再生 なぜ価値ゼロの会社を100億円で売却できたのか？

(株)インプルーブメンツ 代表取締役社長 平 美都江氏

◇第4回税務税制研修会

令和5年12月8日 ニューサンピア敦賀 28名

始まったインボイス制度と本格義務化の電子帳簿保存法への対応

北陸税理士会敦賀支部 税理士 金森文質氏

◇新春役員セミナー

令和6年1月17日 ニューサンピア敦賀 31名

お酒のはなし

敦賀税務署長 中森有里氏

◇インターネットセミナー「オンデマンドサービス」

令和5年4月～令和6年3月(通年) 年間ログイン数 947回/アクセス数 4,706回

(2) その他の研修

◇第39回法人会全国大会「群馬大会」

令和5年10月18日 高崎芸術劇場 1名

ウェルカムコンサート 群馬交響楽団

記念講演「好機到来」

日本通信(株) 代表取締役社長

公立大学法人前橋工科大学 理事長 福田尚久氏

◇全法連「令和6年税制セミナー」

令和6年2月14日 ハイアットリージェンシー東京 1名

ライブ配信 1名

(3) 経営・税務関係誌の配布

◇全会員へ配布

・4/6	令和5年度 税制改正のあらまし(速報版)	900部
・7/4	令和5年度 税制改正のあらまし	900部
・7/4	令和5年度 会社の決算・申告の実務	900部
・8/23	成功する！会社業務のデジタル化	880部
・10/19	令和5年度版 会社取引をめぐる税務Q&A	900部
・10/19	令和5年度版 源泉所得税 実務のポイント	900部
・10/19	わかりやすい年末調整実務のポイント	890部
・1/29	会社役員のための確定申告実務ポイント	880部

◇役員会・税務税制研修会等の参加者、会員へ配布

・自主点検チェックシート(3点セット)	100部
・令和5年版 主要税法取扱便覧	60部
・新設法人のための「会社の税金ガイドブック」	20部
・令和6年ブックダイアリー	48部

4 税制関係

(1) 令和6年度 税制改正要望事項

役員等から提出された「令和6年度税制改正要望に関するアンケート」を集約し、福井県法人会連合会として、全法連に提出した要望書は次のとおりです。

令和6年度 税制改正要望事項

公益社団法人 福井県法人会連合会

1 はじめに

わが国が直面する重要な課題として、コロナ後の未来を見据えた新しい社会の実現、DXを活用した持続可能な社会づくり、人口減少と少子高齢化に対応する社会保障への取り組み、経済的格差の是正等があり、これらの課題に対して、税制がどのように関わるべきか、あるいはどのような対応策を講ずるべきかが問われている。

2 歳入・歳出、税制・財政

(1) 社会保障制度のあり方

イ 医療、介護、年金、雇用、子育て等のあり方を見直し、社会情勢の変化に対応した制度の実現と、みんなで支え合う取り組みが必要である。

ロ 社会保障の充実・安定化及び効率化、財政健全化の安定財源確保のためには、何よりも歳出面での厳格化が喫緊の課題である。

ハ 少子高齢化や人口減少傾向のなか、持続的な社会保障制度の確立のための財政健全化は、増収と同時に支出の抑制が必要であり、公平な税負担の実現と、行政改革により更なる無駄の削減を一層進める必要がある。

二 少子高齢化対策として、若年世代に対して未来への投資（対策）は絶対不可欠である。

(2) 行財政改革の徹底

イ 国・地方における議員定数の削減、歳費の抑制。

ロ 国・地方公務員定数を削減し、能力を重視した賃金体系による人件費の抑制。

ハ 公益法人、独立行政法人に対する補助金は、真に必要なものだけに限定すること。

二 民間でできるものは極力民間にまかせ、積極的な民間活力導入を行って、国・地方自治体のスリム化を図ること。

ホ 課税標準を同じくする法人税、所得税、事業税、都道府県民税、市区町村税の申告・納税を一本化し、徴税コストの削減と納税者の利便性の向上を図ること。

ヘ 持続可能な社会づくりに適合した税体系を確立すること。

3 経済

(1) 中小企業対策

イ 起業の促進、雇用の拡大、後継者の確保等活性化のための税の優遇は必要であるので抜本的な施策を講ずること。

ロ 必要な公共事業（インフラの整備等）は凍結せず行うこと。

ハ AI 社会到来の中、それに対応する企業の人材育成に係る税制優遇策を創設すること。

4 国と地方

(1) 地域間格差・地方創生

イ 都会と地方の所得格差は著しいものがあり、地場産業を振興させる税の優遇措置を図ること。

ロ 東京一極集中の是正。

ハ 交通体系の更なる整備は、企業のコスト削減となり地方活性化につながる。

5 国税・地方税

(1) 法人税

イ 法人税実効税率の引き下げに見合う財源確保については、税制の公平性と透明性の観点から、租税特別措置法を見直すべきである。しかしながら課税ベース拡大にあたる当該見直しは慎重にすること。

ロ 中小企業の軽減税率適用所得金額を引き上げること。

ハ 電話加入権を減価償却資産に変更し、損金算入を認めること。

二 少額減価償却資産の取得価額の損金算入額の上限を撤廃すること。

ホ 宗教法人への課税強化、政治団体の優遇見直し。

ヘ 繰越欠損金の控除限度額の撤廃、繰越期間を無期限とすること。

(2) 個人所得税

イ 生命保険料控除のうち個人年金保険料と介護年金保険料は全額控除対象とすること。

ロ 所得控除全般が複雑なため整理・合理化を図り簡潔にすること。

ハ 少子高齢化・人口減少の中で、今後も持続可能な社会を実現していくためには、一方で働き方改革、もう一方で働き盛りや子育て世代、若い世代の税負担を軽減するといった対策や、各種控除等の見直しをより一層進めること。

(3) 資産課税

- イ 若年世代に資産を早期に移転可能な税制を構築すること。
- ロ 非上場株式（取引相場のない株式）の評価については、実情に即した評価方法・評価額とすること。また、当該株式に係る納税猶予制度については、更なる円滑な事業承継を行うためにその制限を大幅に緩和すべきである。
- ハ 事業承継において、事業用資産、株式等は他の一般資産と切り離し、事業用資産、株式等への課税を軽減する税制を創設すること。
- ニ 申告業務の複雑化のため、相続税の申告期限を延長すること。
- ホ 特例措置の改善策として、手続きの簡素化、後継者の事後管理の負担軽減、課税割合の低減を求める。

(4) 消費税

- イ 社会保障制度の充実策で増税は評価できるが、軽減税率は廃止して単一税率にすること。
- ロ インボイス制度元年となり、消費税制度は広くあまねく平等に徴収することを理解できている。そういった意味合いで、国の財政難を解決するために、税率を20%から25%程度に大幅アップして将来に備えるべきである。

(5) 印紙税

- イ 現在の経済取引は、事務処理の機械化、取引形態の変化により作成される文書の形式・内容が変化し電子決済等でペーパーレス化している。文書課税としての印紙税には不合理・不公平な現象が生じているので廃止すべきである。

(6) 地方税

- イ エコカー減税（自動車取得税等）については、種々の要件を廃して完全実施とすること。
 - ロ 固定資産評価額（課税標準額）については、取引されている市場価格等の実勢価額で評価すること。また、特に建物については、経年により減価するので実態に即した評価額とすること。
 - ハ 空家等対策の推進に関する特別措置法により、固定資産税の増加、さらには住宅解体費用の捻出等といった問題が懸念される。他に効果的措置がないか検討すべきである。
 - イ 原子力発電所立地地域では原発関連産業に依存している割合が高いため、再稼働できないときは税制面において何らかの支援措置を講ずること。
- (イ) 地域企業の設備投資資産に係る固定資産税の軽減措置。
- (ロ) 原発関連技術力の流出防止（人材確保等）のため助成金制度の設置。
- ロ 地域社会からの要請で再稼働する場合は、安全面において誰もが納得できる対策等を講じ周知徹底を図ること。
 - ハ 大規模災害からの復興対策において、農林業と比して商工業への対策が見劣りするので改善すること。

7 その他

(1) 租税教育

- イ 小中高校生に対する正しい税についての教育は重要であり、租税教育を行うことについて民間団体を大いに活用すべきである。
- ロ 学校教育において、税に関する作文・ポスター作り・討論会等を取り入れて、租税の必要性を育むため義務化とすべきである。
- ハ 地方の教育環境の充実を図るための優遇税制を設けること。

(2) その他

イ キャリア税（中年独身者税）の創設。

ロ 看板税の創設

美しい日本の景観を維持するために、自然豊かな景観を損なう看板（特に野立看板）に課税し、芸術性の高いものは減額措置とする。

ハ 防衛力の強化

国の根幹でもあり、つぎはぎ予算ではなく新税の創設を求める。

(2) その他の税制活動

全国大会で採択された「令和6年度税制改正要望事項」を以下の要望先へ提出しました。

(令和5年11月16日・11月24日)

要望先	衆議院議員	高木 毅 氏
	敦賀市長	米澤光治 氏
	敦賀市議会議長	馬淵清和 氏
	美浜町長	戸嶋秀樹 氏
	美浜町議会議長	山口和治 氏
	若狭町長	渡辺英朗 氏
	若狭町議会議長	辻岡正和 氏
実施者	敦賀法人会 会長	家高伊知郎氏
	副会長	小森英雄 氏
	税制委員長	谷口清治 氏

5 社会貢献関係

(1) 税を考える週間行事

◇(税連協) 税についての作品展示会

令和5年11月11日～11月17日 敦賀駅交流施設オルパーク 2階

税に関する絵はがきコンクール入賞作品展示会

◇令和6年度税制改正要望書の提出(詳細は前記記載)

令和5年11月16日 敦賀市

令和5年11月24日 美浜町・若狭町

◇税を考える週間 記念講演会

令和5年11月21日 ニューサンピア敦賀 45名

事業承継で事業再生 なぜ価値ゼロの会社を100億円で売却できたのか?

株式会社インブルーメンツ 代表取締役社長 平 美都江 氏

◇税を考える週間 ファミリーコンサート

令和5年12月5日 プラザ萬象小ホール 62名

異色の二人が奏でるツーマンライブ

ウィンドシンセサイザー奏者 大西泰敬・シンガーソングライター 西脇絵美

(2) 税の啓発活動

◇(青年部会) 税金教室にて冊子配布

令和5年5月11日～令和5年12月15日 敦賀税務署管内小学校13校・602冊

「キミも納めてる！税金どこ行くの？タックスフントとけんたくん」

「おじいさんの赤いつぼ」

(3) 税金教室の開催 令和5年5月11日～令和5年12月15日

開催日	開催校	6年生児童数	講師数	担当講師
5/11	美浜町立 美浜中央小学校	23	1	谷口 直利
5/12	敦賀市立 角鹿小学校	53	1	品川 諭
6/6	敦賀市立 栗野南小学校	77	3	谷口清治ほか
6/14	美浜町立 美浜東小学校	15	1	国川 晃
6/15	若狭町立 気山小学校	10	1	竹野 耕平
6/16	敦賀市立 栗野小学校	109	1	中村 武史
6/19	若狭町立 梅の里小学校	17	1	国川 晃
6/29	若狭町立 鳥羽小学校	17	1	国川 晃
7/4	敦賀市立 中央小学校	87	2	中村武史ほか
7/5	敦賀市立 松原小学校	64	1	岡本 弥市
7/7	敦賀市立 中郷小学校	73	3	谷口清治ほか
11/22	若狭町立 三方小学校	19	2	国川晃、植中敬二
12/15	敦賀市立 敦賀西小学校	38	2	中村武史、山形晃士郎

(4) その他

◇(敦賀税務連絡協議会) 租税教育用副教材贈呈式

小学生「税って何に使われているの？わたしたちの暮らしを支える税」880枚

令和5年11月13日 若狭町立瓜生小学校

中学生「わたしたちの生活と税 わたしたちの暮らしを支える税」920枚

敦賀税務署管内 全中学校・各税金教室ほかにて配布

◇(全国納税貯蓄組合連合会) 税についての作品事業後援

作文の部「敦賀法人会長賞」2点

6 広報関係

(1) 広報誌の発行・配布

◇会報誌「ほうじんつるが」No.93(令和5年8月発行) 1,100部

No.94(令和6年1月発行) 1,100部

◇全法連広報誌「ほうじん」No.720(令和5年4月配布) 1,100部

No.721(令和5年7月配布) 1,100部

No.722(令和5年10月配布) 1,100部

No.723(令和6年1月配布) 1,100部

(2) ホームページによる広報活動

◇各種研修会等のお知らせ、活動報告、会報誌のバックナンバー、税に関する情報等の掲載

◇入会申込書、各種研修会申込書、PET 健診受診の用紙請求書等のダウンロード

(3) その他の広報活動

◇税の情報誌「知らなくちゃ！税」第37号共同発行(敦賀税務連絡協議会共催)

7 厚生関係

(1) 厚生事業

◇会員ふれあい研修

令和5年11月28日 滋賀県 22名

◇新年役員研修会

令和6年1月17日・18日 京都・大阪方面 15名

(2) 福利事業

◇PET健診受診料の一部助成 18名

◇人間ドック（PET・脳ドック健診）料金割引制度の周知及び適用

連携先 福井県済生会病院・福井大学医学部附属病院

(3) 福利厚生制度加入状況

(令和6年2月末日現在)

	加入社数	加入率	取扱会社
経営者大型保障総合制度（役員企業）	41社	100.0%	大同生命・AIG
経営者大型保障総合制度（会員企業）	273社	29.9%	大同生命・AIG
ビジネスガード	136社	15.1%	AIG
がん保険制度	108社	12.0%	アフラック

8 青年部会・女性部会関係

(1) 青年部会の活動

◇税金教室の開催（詳細は前述記載）

令和5年5月11日～令和5年12月15日 敦賀税務署管内小学校13校・602名

◇親睦交流会

令和5年9月8日 敦賀きらめき温泉リラ・ポート 21名

◇県青連 令和5年度研修会（主管：小浜法人会青年部会）

令和5年10月11日 ホテルせくみ屋 6名

福井と観光の今～観光客が求めるものって!? 最新旅スタイルと福井～

福井県認定観光ガイド 大森望央氏

◇第37回「法人会全国青年の集い」山形大会

令和5年11月9・10日 ホテルメトロポリタン山形、やまぎん県民ホール他 7名

◇第3回北陸地区青年の集い「福井大会」 能登半島地震により中止

令和6年2月22日 ザ・グランユアーズフクイ

◇令和5年度研修会

令和6年3月28日 料亭かどの 17名

北陸新幹線延伸開業後の敦賀・嶺南地域の現状課題と今後について

(2) 女性部会の活動

◇第17回「法人会全国女性フォーラム」愛媛大会

令和5年4月13日 アイテムえひめ 参加自粛

◇第13回 税に関する絵はがきコンクール

公募期間 令和5年7月～令和5年8月31日
応募総数 敦賀市内小学校11校の5・6年生/909点
審査会 令和5年9月12日 敦賀商工会館2階会議室
審査委員長 新世紀美術作家協会会員 谷口さやか氏
審査員 敦賀税務署長 中森有里氏
敦賀税務署法人課税部門統括国税調査官 小野 修氏
敦賀法人会会長、女性部会役員ほか6名/合計9名
入賞者数 最優秀賞、敦賀税務署長賞ほか 合計29点
学校賞 中央小学校

表彰式（上位入賞者）

令和5年10月4日 敦賀市立中央小学校（最優秀賞ほか）
令和5年10月5日 敦賀市立栗野小学校（敦賀税務署長賞ほか）

入賞作品展示会（敦賀市内各所・全小学校巡回）

令和5年10月3日～令和6年5月ごろ
・敦賀市内全小学校11校
・敦賀市立図書館2階
・敦賀駅交流施設オルパーク2階
・税務税制研修会会場（ニューサンピア敦賀）
・税を考える週間 記念講演会会場（ニューサンピア敦賀）
・ファミリーコンサート開催会場（プラザ萬象）
・福井銀行敦賀支店
・福邦銀行敦賀支店
・敦賀信用金庫本店、各支店
・敦賀税務署4階確定申告会場
・敦賀市役所1階ロビー・確定申告会場

◇県女連 令和5年度研修会（主管：福井法人会女性部会）

令和5年10月24日 ロイヤルグレース大聖堂 13名
交流会 テーマ「魅力ある女性部会にするために」・ティータイム

◇税を考える週間 ファミリーコンサート

令和5年12月5日 プラザ萬象小ホール 62名
異色の二人が奏でるツーマンライブ
ウィンドシンセサイザー奏者 大西泰敬・シンガーソングライター 西脇絵美

◇新春研修会

令和6年2月8日 蓬萊客館あみや
意見交換会 21名
身も心も健康に！～脳トレーニングの活用法～ 26名
イプラスジム福井 代表 宮谷伸一氏
新春セミナー お酒のはなし 26名
敦賀税務署長 中森有里氏

9 諸会議関係

(1) 定時総会

6/9 第13回定時総会 ニューサンピア敦賀 委任状提出者含む 586社

(2) 正副会長会議等

3/19 正副会長委員長部会長会議 蓬莱客館あみや 14名

(3) 役員会

4/21 4月度役員会 ニューサンピア敦賀 33名

7/27 7月度役員会 蓬莱客館あみや 38名

11/21 11月度役員会 ニューサンピア敦賀 34名

1/17 1月度役員会 ニューサンピア敦賀 38名

3/27 3月度役員会 ニューサンピア敦賀 34名

(4) 委員会・部会

(委員会) 7/27 総務・組織・税制・広報・研修・厚生委員会
蓬莱客館あみや 35名

(青年部会) 7/14 7月度役員会 敦賀商工会館 12名

9/13 全国青年の集い・第1回大懇親会委員会 敦賀 12名

11/20 全国青年の集い・第2回大懇親会委員会 敦賀 10名

1/29 1月度役員会 敦賀 7名

(女性部会) 3/12 3月度役員会 法人会事務所 8名

(5) 監査等

4/14 令和4年度 会計監査 法人会事務所 3名

(6) その他の会議等

(全法連) 4/13 第17回全国女性フォーラム愛媛大会 愛媛 (参加自粛)

7/21 第1回広報委員会 東京 1名

9/8 第1回財務委員会 東京 1名

10/18 第39回法人会全国大会群馬大会 高崎 1名

11/9.10 第37回全国青年の集い山形大会 山形 7名

12/13 第2回財務委員会 東京 1名

2/14 令和6年税制セミナー 東京 1名

〃 ※ライブ配信 1名

2/16 第2回広報委員会 東京 1名

3/4 第39回事務局セミナー ※ライブ配信 2名

3/15 第3回財務委員会 東京 1名

(北法連) 6/12 第44回通常役員総会 金沢 3名

12/13 事務局職員研修会議 金沢 2名

(北青連) 8/9 北陸地区青連協連絡会議 金沢 1名

2/22 第3回北陸地区青年の集い福井大会 能登半島地震・中止

(県法連) 5/16 正副会長会議 福井 2名

決算理事会 福井 5名

6/13 第11回定時総会 福井 7名

8/29 事務局職員会議 奥越 2名

	12/12	理事会	福井	5名
	3/13	予算理事会	福井	4名
(県青連)	6/20	令和5年度定時連絡協議会(総会)	福井	3名
	8/22	全国青年の集い福井大会第2回実行委員会	福井	3名
	9/1	全国青年の集い・5県連会議	福井	2名
	11/27	全国青年の集い福井大会第3回実行委員会	敦賀	3名
	1/16	全国青年の集い福井大会第4回実行委員会	鯖江	3名
(県女連)	6/22	令和5年度定時連絡協議会(総会)	福井	2名
	10/12	正副会長会議・絵はがきコンクール審査会	福井	2名
(税連協)	5/31	第26回定期総会	敦賀税務署	3名
	11/1	税を考える週間行事打合せ会	敦賀税務署	1名
		租税教育に関する意見交換会		2名
	11/11~17	税を考える週間 税に関する作品展	敦賀駅オルパーク	
	1/15	正副会長会議	敦賀税務署	2名
(税理士会)	6/27	北陸税理士会敦賀支部 第43回定期総会		
			ニューサンピア敦賀	1名
(敦賀青色申告会)	6/28	評議員会(総会)	敦賀商工会館	1名